

2020年11月24日

No. 20-302

株式会社 伊予銀行

## 日本政策金融公庫と連携して農業法人の生産性向上を支援！

～生産性向上を目的とした選果設備導入を資金面でサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、日本政策金融公庫と連携して、農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン様（愛媛県八幡浜市、代表取締役社長 宮本 泰邦様）に対し農業経営基盤強化資金（スーパーL）の代理貸付<sup>1</sup>を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

同社は、柑橘の生産・加工・販売に取り組む農業法人であり、農業経営強化と地域活性化を目的にGAP<sup>2</sup>認証取得支援システム「MOG-GAPシステム<sup>3</sup>」を開発し、生産工程を管理するなど商品の品質向上に力を入れています。

今回、新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで以上に消費者が産地や生産者の情報を求めるようになり、以前から課題であった栽培から収穫、選果、出荷のトレーサビリティを確立するため、国の補助事業（ものづくり補助金[コロナ特別枠]）を活用し、「MOG-GAPシステム」と連携した選果設備を導入しました。これにより栽培履歴など商品情報を箱詰め後に自動印字することができ、百貨店や外資系スーパーなどでの新たな取引先の信頼確保と販路拡大に結びつきました。

当行は、今後も一次産業の生産性向上の取組みを積極的にサポートいたします。

### 記

#### 実行日

2020年9月16日（水）

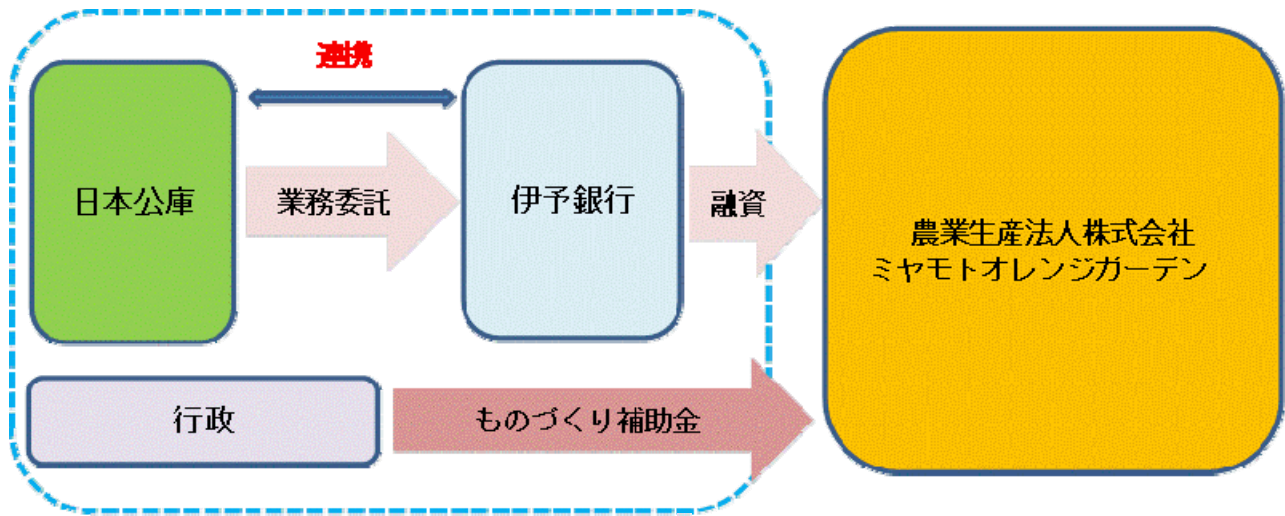
#### 農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン概要

項目	内容
所在地	愛媛県八幡浜市川上町川名津甲 388 番地
業種	柑橘類生産・販売・加工
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>柑橘類販売のほか、みかんジュースや寒天ゼリー、みかんを塩漬けにして熟成させた調味料「塩みかん」などの加工品も販売しています。</li> <li>日本の柑橘業界で初めて「グローバルGAP」を取得し、自社で独自に「MOG-GAPシステム」を開発するなど、安心・安全な柑橘生産に取り組んでいます。</li> </ul>

- 1: 金融機関（代理金融機関）がほかの機関（委託機関）の資金を業務委託に基づいて代理して貸し付けるものです。
- 2: 食品安全・労働環境・環境保全に配慮した農業生産工程管理（Good Agricultural Practice）のことで、国際的な基準である「グローバルGAP」は、東京五輪・パラリンピックでの選手村などの食材の条件になっているほか、生産者に取得を求めるスーパーも増加しています。
- 3: 「グローバルGAP」や「ASIAGAP」等の取得を支援するシステムで、ITを活用することでペーパーレス化と低コストを実現しています。

以上

### 当行と日本政策金融公庫の連携支援体制



### 資金制度概要

資金名	資金の使いみち	融資限度額	融資期間 (うち据置期間)
スーパーL資金 (農業経営基盤強化資金)	農業経営改善計画の 達成に必要な資金	【個人】 3億円(特認6億円) 【法人】 10億円(特認20億円)	25年以内 (10年以内)